

村田 敦郎 研究室

☆研究分野：文化人類学・民俗学／宗教学

- ・ 研究室：8号館 3F
- ・ 文化人類学・民俗学演習室（ゼミ室）：研究室と同じ並びにあります
- ・ メールアドレス：[murata.atsuro\[at\]h.hokkyodai.ac.jp](mailto:murata.atsuro@h.hokkyodai.ac.jp)

[at]を@に変えてください

<研究室の紹介>

私自身はインドネシアの民俗医療（儀礼、呪術、憑依、占い等）と日本の祭礼をテーマとして研究しています。方法論は文化人類学的フィールドワークです。

ゼミ生の皆さんには、原則としてフィールドワーク（国内か国外かは現在未定）に参加していただくこととなります。

1年を通して

- ①文献調査によって当該地域の文化を把握、フィールドワークの方法論の学習
- ②調査目的、問題設定、質問項目の作成をおこなう
- ③フィールドワークを実施
- ④フィールドワークの成果の発表
- ⑤民族誌（調査報告書）の作成

をおこない、文化人類学的な研究手法を学びます。

* 発表回数や課題、人との交流が多いゼミです。

* 現在までの調査地（青森県下北郡天妃行列・恐山大祭、函館八幡宮例大祭、木古内寒中みそぎ祭り、函館ハリストス教会のリトルギー、江差の祭礼等）

* フィールドワークは、バイトや部活動等の私事を理由に休むことはできません。

☆2022年度の調査地は国内であれば兵庫県の曹洞宗の坐禅道場の寺院を予定、コロナ禍が収まっていればインド・ムンバイの日本仏教の宗教活動及びスラムでのボランティア活動に関する国外調査も検討しています。フィールドワークの交通費は実費となります。

<ゼミ配属の要件>

- ・ 村田の授業を一つ以上は履修していること。また村田の授業をひとつでも落として
いる方はご遠慮願います。
- ・ 卒論テーマが本研究室と適合していること（宗教、宗教文化、日本・アジアの文化
誌（史）等）。
- ・ フィールドワークは必ず参加すること。

<ゼミ学生への希望>

- ・ 宗教や、日本とアジア地域の宗教文化に興味がある人。
- ・ フィールドワークや発表する時にドタキャンしない人。